

4 . 各報告書の詳細

すべての分析結果報告書の詳細について記載します。

分析結果報告書確認表示用の画面はA 4用紙印刷を考慮し、小さめにレイアウトされています。

詳細では、個々の入力方法の詳細について記しています。

4 - 1 分析結果報告書 [1]

廃棄物溶出液試料に関する分析結果報告書[1]の入力方法の詳細を記します

表 4-1 廃棄物溶出液試料 (カドミウム) (分析結果報告書 [1])

分析結果	数値 (半角) 入力。測定回数 3 回の結果を記入。 単位 : <u>mg / L</u> 。試料 (廃棄物溶出液試料) 1Lあたりのカドミウム (Cd) のmgとして記入。 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。
・ 分析結果 (検出下限値以上) (検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値以上では、 <u>分析結果を有効数字 3 桁 (有効数字 4 桁目を四捨五入)</u> で記入。 検出下限値未満では、 <u>検出下限値を有効数字 1 桁</u> で記入。
(注) 検出下限 : 例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果 (検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値) は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。
分析開始月日 分析終了月日	コンボボックスより選択。 分析開始日は分析 (前処理操作を含む) を開始した日。 分析終了日は定量操作を完了した日。
分析方法 使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的な分析方法を記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的に記入。
分析条件	3回測定 (併行測定) のうち、1回目の分析条件を記入。 ただし、 試料の指示値 (吸光度、ピーク面積等) については、3回分を記入。
< 前処理 > 試料量 準備操作 試験溶液の量 (定容量)	数値 (半角) 入力。単位 : mL。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的に記入。 数値 (半角) 入力。単位 : mL。

<p>< 溶媒抽出等 ></p> <p>準備操作 (溶媒抽出等)</p> <p>試験溶液の分取量</p> <p>溶媒の種類</p> <p>キレートの種類</p> <p>抽出回数</p> <p>溶媒の使用量</p> <p>最終の定容量</p> <p>最終溶液の液性</p>	<p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値 (半角) 入力。単位 : mL。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値 (半角) 入力。単位 : 回。</p> <p>数値 (半角) 入力。1 回当たりの使用量。単位 : mL。</p> <p>数値 (半角) 入力。単位 : mL。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p>
<p>< 原子吸光法 ></p> <p>試験溶液の希釈 希釈倍率</p> <p>電気加熱法 注入量</p> <p>注入の方法</p> <p>原子化の方法</p> <p>モリブデンの添加</p> <p>原子吸光装置 バックグラウンド補正</p> <p>測定波長</p>	<p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。</p> <p>単位 : μL。希釈しない場合には、「1」。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値 (半角) 入力。単位 : nm。</p>
<p>< ICP発光分光分析法 ></p> <p>試験溶液の希釈 希釈倍率</p> <p>装置 型式</p> <p>バックグラウンド補正</p> <p>超音波初ライザーの使用</p> <p>測定時間</p> <p>測定波長</p>	<p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>数値 (半角) 入力。単位 : 秒。</p> <p>数値 (半角) 入力。単位 : nm。</p>

<p>< ICP質量分析法 ></p> <p>試験溶液の希釈 希釈倍率 スペクトル干渉の低減又は補正 質量分析計</p> <p>コリジョンリアクションセル 水素化物発生 補正式による補正</p> <p>その他</p> <p>積分時間 質量数</p>	<p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>補正式による補正を行った場合には、補正前と補正後の指示値について「イオンカウント値」等、数値（半角）入力。</p> <p>コンボボックスより選択。「行う」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値（半角）入力。単位：秒。</p> <p>数値（半角）入力。</p>
<p>< 検量線の作成等 ></p> <p>定量方法 方法 内標準物質の種類</p> <p>検量線の作成 作成点数 作成範囲 最小濃度 最大濃度 最高濃度の指示値</p> <p>試料 指示値</p> <p>空試験 指示値</p> <p>検出下限</p>	<p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値（半角）入力。整数。</p> <p>数値（半角）入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/L)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。</p> <p>数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。</p> <p>数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。</p> <p>数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。</p> <p>数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。</p> <p>数値（半角）入力。単位：mg/L。</p>
<p>分析実施にあたっての留意した点 及び問題と感じた点</p>	<p>全角文字入力。「。」、「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、<u>150文字以内</u>で簡潔に記入する。</p>
<p>計算式</p>	<p>全角文字入力。「。」、「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、<u>150文字以内</u>で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記載する。</p> <p>例（フレーム原子吸光法：溶媒抽出せず）</p> <p>分析結果（mg/L）＝（検量線から求めた測定溶液濃度 mg/L - 空試験の濃度mg/L）× 希釈倍率 × 試験溶液の量 mL ÷ 試料量（mL）</p>

4 - 2 分析結果報告書 [2]

廃棄物溶出液試料に関する分析結果報告書[2]の入力方法の詳細を記します。

表 4-2 廃棄物溶出液試料 (鉛)(分析結果報告書 [2])

表4-1 廃棄物溶出液試料 (カドミウム)(分析結果報告書 [1])と同じ

4 - 3 分析結果報告書 [3]

廃棄物溶出液試料に関する分析結果報告書[3]の入力方法の詳細を記します。

表 4-3 廃棄物溶出液試料 (砒素)(分析結果報告書 [3])

分析結果	数値 (半角) 入力。測定回数 3 回の結果を記入。 単位: mg / L。試料 (廃棄物溶出液試料) 1Lあたりの砒素 (As) のmgとして記入。 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。
・分析結果(検出下限値以上) (検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値以上では、分析結果を有効数字 3 桁 (有効数字 4 桁目を四捨五入) で記入。 検出下限値未満では、検出下限値を有効数字 1 桁で記入。
(注) 検出下限 : 例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果 (検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値) は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。
分析開始月日 分析終了月日	コンボボックスより選択。 分析開始日は分析 (前処理操作を含む) を開始した日。 分析終了日は定量操作を完了した日。
分析方法 使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的な分析方法を記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的に記入。
分析条件	<u>3回測定 (併行測定) のうち、1回目の分析条件を記入。</u> ただし、試料の指示値 (吸光度、ピーク面積等) については、3回分を記入。

< 前処理（試験溶液の調製）>	
試料量	数値（半角）入力。単位：mL。
酸の量 硝酸	数値（半角）入力。単位：mL。使用しない場合は「0」
硫酸(1+1)	数値（半角）入力。単位：mL。使用しない場合は「0」
過マンガン酸カリウム溶液(3g/L)	数値（半角）入力。単位：mL。使用しない場合は「0」
過塩素酸	数値（半角）入力。単位：mL。使用しない場合は「0」
塩酸	数値（半角）入力。単位：mL。使用しない場合は「0」
過酸化水素	数値（半角）入力。単位：mL。使用しない場合は「0」
方法	コンボボックスより選択。
試験溶液の量（定容量）	数値（半角）入力。単位：mL。
< 水素化物発生法の予備還元等 >	
試験溶液の分取量	数値（半角）入力。単位：mL。
予備還元の試薬 よう化カリ	コンボボックスより選択。
(酸を除く) 塩化すず()	コンボボックスより選択。
鉄()	コンボボックスより選択。
臭化カリ	コンボボックスより選択。
アスコルビン酸	コンボボックスより選択。
その他	全角文字で具体的に記入。
予備還元の溶液 塩酸濃度	数値（半角）入力。単位：mol/L。
硫酸濃度	数値（半角）入力。単位：mol/L。
還元剤	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
< 吸光光度法 >	
吸収液	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
測定波長	数値（半角）入力。単位：nm。
< 原子吸光法、ICP発光分析法 >	
導入方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
原子吸光装置 バックグラウンド補正	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
測定波長	数値（半角）入力。単位：nm。
ICP発光分光装置 型式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
バックグラウンド補正	コンボボックスより選択。
超音波初ライナーの使用	コンボボックスより選択。
測定時間	数値（半角）入力。単位：秒。
測定波長	数値（半角）入力。単位：nm。

<p>< ICP質量分析法 ></p> <p>試験溶液の希釈 希釈倍率 スペクトル干渉の低減又は補正 質量分析計</p> <p>コリジョンリアクションセル 水素化物発生 補正式による補正</p> <p>その他</p> <p>積分時間 質量数</p>	<p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>補正式による補正を行った場合には、補正前と補正後の指示値について「イオンカウント値」等、数値（半角）入力。</p> <p>コンボボックスより選択。「行う」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値（半角）入力。単位：秒。</p> <p>数値（半角）入力。</p>
<p>< 検量線の作成等 ></p> <p>定量方法 方法 内標準物質の種類</p>	<p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p>
<p>検量線の作成 作成点数 作成範囲 最小濃度 最大濃度 最高濃度の指示値</p>	<p>数値（半角）入力。整数。</p> <p>数値（半角）入力。吸光光度法では発生瓶での量(μg)。原子吸光法、ICP発光分析法及びICP質量分析法では測定する溶液中の濃度(mg/L)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。</p> <p>数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。</p> <p>数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。</p>
<p>試料 指示値</p>	<p>数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。</p>
<p>空試験 指示値</p>	<p>数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。</p>
<p>検出下限</p>	<p>数値（半角）入力。単位：mg/L。</p>
<p>分析実施にあたっての留意した点 及び問題と感じた点</p>	<p>全角文字入力。「。」、「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、<u>150文字以内</u>で簡潔に記入する。</p>
<p>計算式</p>	<p>全角文字入力。「。」、「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、<u>150文字以内</u>で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記載する。廃棄物溶出液試料（カドミウム）と同様。</p>

4 - 4 分析結果報告書 [4]

廃棄物溶出液試料に関する分析結果報告書 [4] の入力方法の詳細を記します

表 4-4 廃棄物溶出液試料（カルシウム）（分析結果報告書 [4]）

分析結果	<p>数値（半角）入力。測定回数 3 回の結果を記入。 <u>単位：mg/L</u>。試料（廃棄物溶出液試料）1Lあたりのカルシウム（Ca）のmgとして記入。 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。</p>
・分析結果(検出下限値以上) (検出下限未満での検出下限の値)	<p>検出下限値以上では、<u>分析結果を有効数字 3 桁</u>（有効数字 4 桁目を四捨五入）で記入。 検出下限値未満では、<u>検出下限値を有効数字 1 桁</u>で記入。</p>
（注）検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	<p>分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値）は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。</p>
分析開始月日 分析終了月日	<p>コンボボックスより選択。 分析開始日は分析（前処理操作を含む）を開始した日。 分析終了日は定量操作を完了した日。</p>
分析方法 使用した水	<p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、<u>全角文字</u>で具体的な分析方法を記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、<u>全角文字</u>で具体的に記入。</p>
分析条件	<p><u>3回測定（併行測定）のうち、1回目の分析条件を記入。</u> ただし、試料の指示値（吸光度、ピーク面積等）については、3回分を記入。</p>
<キレート滴定法> 試料量 準備操作 試料の希釈 希釈倍率 滴定量	<p>数値（半角）入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、<u>全角文字</u>で具体的に記入。 希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。 数値（半角）入力。単位：mL。</p>

<p>< フレーム原子吸光法 ></p> <p>試料量 準備操作</p> <p>試料の希釈 希釈倍率</p> <p>原子吸光装置 バックラウンド補正</p> <p>測定波長 フレーム</p> <p>シフト溶液の添加</p>	<p>数値（半角）入力。単位：mL。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値（半角）入力。単位：nm。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p>
<p>< ICP発光分光分析法 ></p> <p>試料量 準備操作</p> <p>試料の希釈 希釈倍率</p> <p>装置 型式</p> <p>バックラウンド補正</p> <p>超音波ネーグの使用</p> <p>測定時間</p> <p>測定波長</p>	<p>数値（半角）入力。単位：mL。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>数値（半角）入力。単位：秒。</p> <p>数値（半角）入力。単位：nm。</p>
<p>< イオンクロマト法 ></p> <p>準備操作</p> <p>試料の希釈 希釈倍率</p> <p>注入量</p>	<p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。</p> <p>数値（半角）入力。単位：μL。</p>
<p>< 検量線の作成等 ></p> <p>定量方法 方法</p> <p>内標準物質の種類</p>	<p>滴定法以外の場合に記入する。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p>
<p>検量線の作成 作成点数</p> <p>作成範囲 最小濃度</p> <p>最大濃度</p> <p>最高濃度の指示値</p>	<p>数値（半角）入力。整数。</p> <p>数値（半角）入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/L)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。</p> <p>数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。</p> <p>数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。</p>

試料	指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
空試験	指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
検出下限		数値（半角）入力。単位：mg / L。
分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点		全角文字入力。「。」「、」 _、 「数字」 _、 「記号」等も全角文字入力とし、 <u>150文字以内</u> で簡潔に記入する。
計算式		全角文字入力。「。」「、」 _、 「数字」 _、 「記号」等も全角文字入力とし、 <u>150文字以内</u> で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記載する。廃棄物溶出液試料（カドミウム）と同様。

4 - 5 分析結果報告書 [5]

廃棄物（下水汚泥）試料に関する分析結果報告書[5]の入力方法の詳細を記します

表 4-5 廃棄物（下水汚泥）試料（クロム）（分析結果報告書 [5]）

分析結果	数値（半角）入力。測定回数3回の結果を記入。 単位：mg / kg。試料（廃棄物試料）1kgあたりのクロム（Cr）のmgとして記入。 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。
・分析結果(検出下限値以上) (検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値以上では、 <u>分析結果を有効数字3桁</u> （有効数字4桁目を四捨五入）で記入。 検出下限値未満では、 <u>検出下限値を有効数字1桁</u> で記入。
(注) 検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値）は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。
分析開始月日 分析終了月日	コンボボックスより選択。 分析開始日は分析（前処理操作を含む）を開始した日。 分析終了日は定量操作を完了した日。
分析方法 使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的な分析方法を記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的に記入。

分析条件	3回測定（併行測定）のうち、1回目の分析条件を記入。 ただし、試料量及び試料の指示値（吸光度、ピーク面積等）については、3回分を記入。
<前処理> 試料量 前処理 前処理後の定容量	数値（半角）入力。単位：g。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mL。
<溶媒抽出等> 準備操作（溶媒抽出等） 前処理後の溶液の分取量 （溶媒抽出） 溶媒の種類 キレートの種類 抽出回数 溶媒の使用量 最終の定容量 最終溶液の液性	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：回。 数値（半角）入力。1回当たりの使用量。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
<吸光度法> 測定波長	数値（半角）入力。単位：nm。
<原子吸光法> 試験溶液の希釈 希釈倍率 電気加熱法 注入量 注入の方法 原子化の方法 モスファイアの添加 原子吸光装置バックラウンド補正 測定波長	希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。 単位：μL。希釈しない場合には、「1」。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：nm。

<p>< ICP発光分光分析法 ></p> <p>試験溶液の希釈 希釈倍率 装置 型式</p> <p>バックグラウンド補正</p> <p>超音波ドライグ-の使用</p> <p>測定時間</p> <p>測定波長</p>	<p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>数値（半角）入力。単位：秒。</p> <p>数値（半角）入力。単位：nm。</p>
<p>< ICP質量分析法 ></p> <p>試験溶液の希釈 希釈倍率</p> <p>スペクトル干渉の低減又は補正</p> <p>質量分析計</p> <p>コリジョンリアクションセル</p> <p>水素化物発生</p> <p>補正式による補正</p> <p>その他</p> <p>積分時間</p> <p>質量数</p>	<p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>補正式による補正を行った場合には、補正前と補正後の指示値について「イオンカウント値」等、数値（半角）入力。</p> <p>コンボボックスより選択。「行う」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値（半角）入力。単位：秒。</p> <p>数値（半角）入力。</p>
<p>< 検量線の作成等 ></p> <p>定量方法 方法</p> <p>内標準物質の種類</p>	<p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p>
<p>検量線の作成 作成点数</p> <p>作成範囲 最小濃度</p> <p>最大濃度</p> <p>最高濃度の指示値</p>	<p>数値（半角）入力。整数。</p> <p>数値（半角）入力。吸光光度法では測定溶液中の量（μg）、他は分析装置で測定する溶液中の濃度（mg/L）を記入。「ゼロ(0)」は含めない。</p> <p>数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。</p> <p>数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。</p>
<p>試料 指示値</p>	<p>数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。</p>
<p>空試験 指示値</p>	<p>数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。</p>
<p>検出下限</p>	<p>数値（半角）入力。単位：mg/kg。</p>

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	全角文字入力。「。」、「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、 <u>150文字以内</u> で簡潔に記入する。
計算式	全角文字入力。「。」、「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、 <u>150文字以内</u> で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記載する。廃棄物溶出液試料（カドミウム）と同様。

4 - 6 分析結果報告書 [6]

廃棄物（下水汚泥）試料に関する分析結果報告書[6]の入力方法の詳細を記します

表 4-6 廃棄物（下水汚泥）試料（ほう素）（分析結果報告書 [6]）

分析結果	数値（半角）入力。測定回数3回の結果を記入。 <u>単位：mg / kg</u> 。試料（廃棄物試料）1kgあたりのほう素（B）のmgとして記入。 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。
・分析結果(検出下限値以上) (検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値以上では、 <u>分析結果を有効数字3桁</u> （有効数字4桁目を四捨五入）で記入。 検出下限値未満では、 <u>検出下限値を有効数字1桁</u> で記入。
（注）検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値）は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。
分析開始月日 分析終了月日	コンボボックスより選択。 分析開始日は分析（前処理操作を含む）を開始した日。 分析終了日は定量操作を完了した日。
分析方法 使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的な分析方法を記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的に記入。
分析条件	<u>3回測定（併行測定）のうち、1回目の分析条件を記入。</u> ただし、 <u>試料量及び試料の指示値（吸光度、ピーク面積等）については、3回分を記入。</u>

<p>< 前処理 ></p> <p>試料量</p> <p>前処理</p> <p>前処理後の定容量</p>	<p>数値（半角）入力。単位：g。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値（半角）入力。単位：mL。</p>
<p>< 吸光光度法 ></p> <p>測定波長</p>	<p>数値（半角）入力。単位：nm。</p>
<p>< ICP発光分光分析法 ></p> <p>試験溶液の希釈 希釈倍率</p> <p>装置 型式</p> <p>バックグラウンド補正</p> <p>超音波ネーライザの使用</p> <p>測定時間</p> <p>測定波長</p>	<p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>数値（半角）入力。単位：秒。</p> <p>数値（半角）入力。単位：nm。</p>
<p>< ICP質量分析法 ></p> <p>試験溶液の希釈 希釈倍率</p> <p>スペクトル干渉の低減又は補正</p> <p>質量分析計</p> <p>コリジョンリアクションセル</p> <p>水素化物発生</p> <p>補正式による補正</p> <p>その他</p> <p>積分時間</p> <p>質量数</p>	<p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>補正式による補正を行った場合には、補正前と補正後の指示値について「イオンカウント値」等、数値（半角）入力。</p> <p>コンボボックスより選択。「行う」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値（半角）入力。単位：秒。</p> <p>数値（半角）入力。</p>
<p>< 検量線の作成等 ></p> <p>定量方法 方法</p> <p>内標準物質の種類</p>	<p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p>

検量線の作成 作成点数	数値（半角）入力。整数。
作成範囲 最小濃度	数値（半角）入力。吸光光度法では測定溶液中の量（ μg ）他は分析装置で測定する溶液中の濃度（ mg/L ）を記入。「ゼロ(0)」は含めない。
最大濃度	数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。
最高濃度の指示値	数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。
試料 指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
空試験 指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
検出下限	数値（半角）入力。単位： mg/kg 。
分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	全角文字入力。「。」「、」 「数字」 「記号」等も全角文字入力とし、150文字以内で簡潔に記入する。
計算式	全角文字入力。「。」「、」 「数字」 「記号」等も全角文字入力とし、150文字以内で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記載する。廃棄物溶出液試料（カドミウム）と同様。

4 - 7 分析結果報告書 [7]

水質試料に関する分析結果報告書 [7] の入力方法の詳細を記します。

表 4-7 水質試料（有機スズ化合物）（分析結果報告書 [7]）

測定回数	1～5の整数（半角）入力。分析用試料のはかり取りからGC/MS等の測定までの一連の操作を行った回数（併行測定の回数）を記入。
分析結果	数値（半角）入力。単位： $\mu\text{g/L}$ 。 実施要領5の希釈方法に従って希釈・混合して調製した分析試料中の濃度を記入。 （分析を実施しない項目があった場合には、「9999」と入力） 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。 測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2～5回目の分析結果」欄は記入しない。

・分析結果（検出下限値以上） （検出下限未満での検出下限の値）	検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁（有効数字4桁目を四捨五入）で記入。 検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
（注）検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値）」は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。
分析開始月日 分析終了月日	コンボボックスより選択。 分析開始日は分析（前処理操作を含む）を開始した日。 分析終了日は定量操作を完了した日。
分析方法 誘導体化 実施の有無 その方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的な分析方法を記入する。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的な分析方法を記入する。
分析条件	<u>2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。</u> ただし、試料の指示値（ピーク面積等）については、測定回数分を記入する。
<測定用試料液の調製> 試料量	数値（半角）入力。単位：mL。
試料からの抽出 塩酸 塩化ナトリウム 溶媒の種類 溶媒の使用量 1回目 2回目 1回当たりの抽出時間振とう 抽出回数	数値（半角）入力。単位：mL。使用しないときは「0」を記入。 数値（半角）入力。単位：g。使用しないときは「0」を記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：mL。2回行わなかったときは「0」を記入。 数値（半角）入力。単位：分。 数値（半角）入力。単位：回。
クリーンアップ方法	コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的に記入。

濃縮の方法 □-タリ-エハ°ホ°レータ- K D 窒素吹き付け その他の方法	実施した場合には、チェックボックスにチェック。 実施した場合には、チェックボックスにチェック。 実施した場合には、チェックボックスにチェック。 その他の方法を実施した場合には、全角文字で具体的に記入。
定容量（測定用試料液量）	数値（半角）入力。単位：mL。
< G C / M S > G C 型式 M S 型式 装置型式 イオン検出法	すべての項目とも、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
カラム 型式 内径 長さ 膜厚	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mm。 数値（半角）入力。単位：m。 数値（半角）入力。単位：μm。
カラム昇温条件	温度（ ）、温度保持（分）、昇温速度（ /分）、昇温回数（回）とも数値（半角）入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終の温度と温度保持を記入。
キャリアーガス条件 種類 流量 圧力	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mL/分。 数値（半角）入力。単位については、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
注入 量 注入口温度 注入方式	数値（半角）入力。GCへの注入量(μL)を記入。 数値（半角）入力。単位：。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
測定用質量数	すべての項目とも、数値（半角）入力。 定量に用いた質量数1つを記入。
< 標準原液 > 区分 購入：メーカー名	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
< 検出下限 > 検出下限	数値（半角）入力。試料中の濃度（μg/L）として記入。 。

< 検量線の作成等 > 定量方法 方法	コンボボックスより選択。
シソジ°スハ°イ内標準物質 使用の有無 添加物質 添加量	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。GC/MS測定用試料液中の量（ng） で記入。
サソ°ルサ°イ内標準物質 使用の有無 添加物質 添加量 回収率	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。試料への添加量（ng）で記入。 数値（半角）入力。単位：％。
（注）サソ°ルサ°イ内標準物質とは、「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」では「サロゲート」と表記されている。	
検量線の作成 作成点数 作成範囲 最小量 最大量 最高濃度の指示値	数値（半角）入力。整数。 数値（半角）入力。GCの注入量（ng）を記入。「ゼロ(0)」は含めない。 数値（半角）入力。単位：最小量と同じ。 数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と 同じ単位で記入。
試料の指示値 測定回数分	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位 で記入。
空試験の指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位 で記入。
参考：分析用試料の調製（水で 希釈・混合して調製する方法） ・使用した容器 ・使用した水 ・共通試料：A液の量 ・共通試料：B液の量 ・定容量 ・分析用試料を調製してから 分析操作（抽出操作）までの時 間	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全 角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：分。
分析実施にあたっての留意し た点及び問題と感じた点	全角文字入力。「。」、「、」 「数字」 「記号」等も全角文字入力とし、 150文字以内で簡潔に記入する。

計算式	全角文字入力。「。」、「、」 「数字」 「記号」等も全角文字入力とし、 150文字以内で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記載する。廃棄物溶出液試料（カドミウム）と同様。
-----	--

4 - 8 分析結果報告書 [8]

水質試料に関する分析結果報告書[8]の入力方法の詳細を記します。

表 4-8 水質試料（有機塩素化合物）（分析結果報告書 [8]）

測定回数	1～5の整数（半角）入力。 <u>分析用試料のはかり取りからGC/MS等の測定までの一連の操作を行った回数（併行測定の数）</u> を記入。
分析結果	数値（半角）入力。単位： <u>μg/L</u> 。 実施要領5の希釈方法に従って水で希釈・混合して調製した分析試料中の濃度を記入。 （分析を実施しない項目があった場合には、「9999」と入力） 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。 測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2～5回目の分析結果」欄は記入しない。
・分析結果（検出下限値以上） （検出下限未満での検出下限の値）	検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁（有効数字4桁目を四捨五入）で記入。 検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
（注）検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値）」は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。
分析開始月日 分析終了月日	コンボボックスより選択。 分析開始日は分析（前処理操作を含む）を開始した日。 分析終了日は定量操作を完了した日。
分析方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 <u>全角文字</u> で具体的な分析方法を記入する。

分析条件	2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。ただし、試料の指示値（ピーク面積等）については、測定回数分を記入する。
< 測定用試料液の調製 > 試料量	数値（半角）入力。単位：mL。
溶媒抽出 試料からの抽出 塩化ナトリウム 溶媒の種類 溶媒の使用量 1回目 2回目 1回当たりの抽出時間振とう 抽出回数	数値（半角）入力。単位：g。使用しないときは「0」を記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：mL。2回行わなかったときは「0」を記入。 数値（半角）入力。単位：分。 数値（半角）入力。単位：回。
固相抽出 型式等 1 2	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
クリーンアップ方法	コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
濃縮の方法 R-トリ-IL ⁺ ホレター K D 窒素吹き付け その他の方法	実施した場合には、チェックボックスにチェック。 実施した場合には、チェックボックスにチェック。 実施した場合には、チェックボックスにチェック。 その他の方法を実施した場合には、全角文字で具体的に記入。
定容量（測定用試料液量）	数値（半角）入力。単位：mL。
< GC / MS > GC 型式 MS 型式 装置型式 イオン検出法	すべての項目とも、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
カラム 型式 内径 長さ 膜厚	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mm。 数値（半角）入力。単位：m。 数値（半角）入力。単位：μm。
カラム昇温条件	温度（ ） 温度保持（分） 昇温速度（ /分） 昇温回数（回）とも数値（半角）入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終の温度と温度保持を記入。

キャリヤーガス条件 種類 流量 圧力	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mL/分。 数値（半角）入力。単位については、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
注入量 注入口温度 注入方式	数値（半角）入力。GCへの注入量(μL)を記入。 数値（半角）入力。単位： コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
測定用質量数	すべての項目とも、数値（半角）入力。 定量に用いた質量数1つを記入。
<標準原液> 区分 購入：メーカー名	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
<検出下限> 検出下限	数値（半角）入力。試料中の濃度(μg/L)として記入。
<検量線の作成等> 定量方法 方法	コンボボックスより選択。
シンツ [®] ス [®] の内標準物質 使用の有無 添加物質 添加量	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。GC/MS測定用試料液中の量(ng)で記入。
サツ [®] ルス [®] の内標準物質 使用の有無 添加物質 添加量	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。試料への添加量(ng)で記入。
(注) サツ [®] ルス [®] の内標準物質とは、「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」では「サロゲート」と表記されている。	
検量線の作成 作成点数 作成範囲 最小量 最大量 最高濃度の指示値	数値（半角）入力。整数。 数値（半角）入力。GCの注入量(ng)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。 数値（半角）入力。単位：最小量と同じ。 数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。

試料の指示値 測定回数分	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
空試験の指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
参考：分析用試料の調製（水で希釈・混合して調製する方法） ・使用した容器 ・使用した水 ・共通試料：A液の量 ・共通試料：B液の量 ・定容量 ・分析用試料を調製してから分析操作（抽出操作）までの時間	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：分。
分析実施にあたっての留意した点 及び問題と感じた点	全角文字入力。「。」「、」「数字」「記号」等も全角文字入力とし、 <u>150文字以内</u> で簡潔に記入する。
計算式	全角文字入力。「。」「、」「数字」「記号」等も全角文字入力とし、 <u>150文字以内</u> で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記載する。廃棄物溶出液試料（カドミウム）と同様。

4 - 9 分析結果報告書 [9]

廃棄物（はいじん）試料に関する分析結果報告書[9]の入力方法の詳細を記します。ここには、「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法」に規定する抽出方法の場合の結果を記入する。この検定方法の規定以外の抽出方法の場合には、分析結果報告書 [10] に記入する。

表 4-9 廃棄物（はいじん）試料（ダイオキシン類）（分析結果報告書 [9]）

測定回数	1～5の整数（半角）入力。 <u>分析用試料のはかり取りからGC/MS等の測定までの一連の操作を行った回数（併行測定の数）</u> を記入。
------	--

分析結果	<p>数値（半角）入力。単位：ng/g。</p> <p>（分析を実施しない項目があった場合には、「9999」と入力）</p> <p>「定量下限値以上」、「検出下限～定量下限」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。</p> <p>測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2～5回目の分析結果」欄は記入しない。</p>
<p>・分析結果（定量下限値以上）</p> <p>（検出下限～定量下限）</p> <p>（検出下限未満での検出下限の値）</p>	<p>定量下限値以上では、<u>有効数字2桁</u>（有効数字3桁目を四捨五入）で記入。</p> <p>検出下限以上定量下限値未満では、<u>有効数字2桁</u>（有効数字3桁目を四捨五入）で記入。</p> <p>検出下限値未満では、<u>検出下限値を有効数字1桁</u>で記入。</p>
<p>（注）分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（定量下限値以上、検出下限以上定量下限未満の値または検出下限未満での検出下限の値）は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。</p> <p>検出下限、定量下限とは、試料における検出下限、定量下限値を示す。</p>	
分析条件	<u>2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。ただし、試料の分取量については、測定回数分を記入する。</u>
<p><抽出></p> <p>試料のはかり取り量</p>	数値（半角）入力。単位：g。測定回数分を記入する。PCDDs及びPCDFs用とDL-PCB用と異なる取り方を行った場合には、「メモ」欄にその概要を記入する。
2mol/L塩酸の使用量	数値（半角）入力。単位：mL。
ろ過に使用したろ紙の種類	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
洗浄水の量	数値（半角）入力。単位：mL。
<p>洗浄溶媒 種類</p> <p>量</p>	<p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値（半角）入力。単位：mL。</p>
<p>ソックスレ-抽出 溶媒</p> <p>(塩酸処理後の残さ)抽出時間</p> <p>溶媒量</p> <p>ろ紙の種類</p>	<p>トルエン</p> <p>数値（半角）入力。単位：時間。</p> <p>数値（半角）入力。単位：mL。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p>

液・液抽出 溶媒 (塩酸溶液・洗浄液) 抽出回数 溶媒量	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 全角文字で具体的に記入。 数値(半角)入力。単位:回。 数値(半角)入力。単位:mL/回。
抽出液の濃縮	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 全角文字で具体的に記入。
濃縮後の定容量(抽出液)	数値(半角)入力。単位:mL。
クリーニング用の試料 (抽出液の分量)	数値(半角)入力。単位:mL。 「PCDDs及びPCDFs用」と「DL-PCB用」に別々に取ら なかった(一緒として取った)場合には、同じ数値を記 入。PCDDs及びPCDFs用とDL-PCB用と異なる取り方を 行った場合には、「メモ」欄にその概要を記入する。
クリーニング剤の添加 添加箇所	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 全角文字で具体的に記入。
<クリーニングアップ> A 硫酸処理 シリカゲルコロマト 多層シリカゲルコロマト	すべての項目とも、コンボボックスより選択。
B その他の操作 GC/MS分析用試料液の調 製 方法	すべての操作とも、コンボボックスより選択。「その他」 を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
C 硫黄分除去の処理	すべての操作とも、コンボボックスより選択。「その他」 を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
クリーニングアップ方法	上記A~Cの記号を用いて記入する。
転用溶媒	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 全角文字で具体的に記入。
GC/MS分析用試料液 PCDDs及びPCDFs 用 DL-PCB用	数値(半角)入力。単位:μL。 GC/MS分析用試料液の量であり、GCへの注入量でないことに注 意する。
<GC/MS> 対応物質 PCDDs及びPC DFs DL-PCB	(対応物質ごとにGC/MS1~5に記入する) チェックボックスにチェック。分析対象とした塩素化物 を選択。
GC 型式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 全角文字で具体的に記入。

カラム 型式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
内径	数値（半角）入力。単位：mm。
長さ	数値（半角）入力。単位：m。
膜厚	数値（半角）入力。単位：μm。
昇温条件	温度（ ） 温度保持（分） 昇温速度（ /分） 昇温回数（回）とも数値（半角）入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終の温度と温度保持を記入。
注入 量	数値（半角）入力。単位：GCへの注入量(μL)を記入。
注入口温度	数値（半角）入力。単位： 。
注入方式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
キャリアーガス条件 流量	数値（半角）入力。単位：mL/分。
圧力	数値（半角）入力。 単位については、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
MS型式 型式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
測定時の分解能	コンボボックスより選択。
イオン化 方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
電圧	コンボボックスより選択。
電流	コンボボックスより選択。
イオン源温度	数値（半角）入力。単位： 。
< 検量線の作成 > PCDDs及びPCDFs 作成 点数	数値（半角）入力。整数。 数値（半角）入力。GCに注入する標準液の濃度(ng / mL)を記入。「ゼロ(0)」は含めず、異性体で異なる場合には最小値を記入。
作成範囲 最小濃度	数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。異性体で異なる場合には、最大値を記入。
最大濃度	数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。異性体で異なる場合には、最大値を記入。
繰り返し数	数値（半角）入力。整数。
DL-PCB 作成点数	PCDDs及びPCDFsと同様に記入。
作成範囲 最小濃度	
最大濃度	
繰り返し数	

<p>標準物質(液)</p> <p>PCDDs及びPCDFs 製造メーカー</p> <p>開封後の月数</p> <p>DL-PCB 製造メーカー</p> <p>開封後の月数</p>	<p>製造メーカーは、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>開封後の月数は、数値(半角)入力。単位:月。</p>
<p>装置安定性 感度変動</p> <p>保持時間変動</p>	<p>数値(半角)入力。単位:%。</p> <p>数値(半角)入力。単位:%。</p>
<p><異性体別のGC/MS分析条件及び分離定量></p> <p>GC/MS分析条件</p> <p>分離定量</p>	<p>異性体別に選択又は具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。1~5のうち定量に使用した条件一つを選択する(分析条件GC/MS1~GC/MS5のいずれを選ぶ)</p> <p>コンボボックスより選択。分析条件(GCカラム等)から重なっている異性体があるときには「2」を選択する。「2」を選んだ場合、重なっている異性体がわかっているときには具体的に記入。</p>
<p><内標準物質の添加量と回収率></p> <p>クリーンアップスパイク 添加量</p> <p>クリーンアップスパイク 回収率</p> <p>シリコンスパイク 添加量</p>	<p>使用した内標準物質に該当する欄に記入。「その他」の内標準物質を使用した場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値(半角)入力。添加した内標準物質の量(n g)を記入。</p> <p>数値(半角)入力。添加した内標準物質の回収率(%)を記入。</p> <p>数値(半角)入力。添加した内標準物質の量(n g)を記入。</p>
<p><空試験値及び相対感度係数></p> <p>空試験値(操作ブランク)</p> <p>相対感度係数(RRFcs)</p> <p>相対感度係数(RRFrs)</p>	<p>数値(半角)入力。試料中の濃度(p g / g)に換算した値で記入(分析結果と同じ単位とする)。<u>空試験値が検出されない場合には記入しない(空欄とする)。</u></p> <p>数値(半角)入力。2つのモニターイオン(質量数)では平均値を記入。</p> <p>数値(半角)入力。2つのモニターイオン(質量数)では平均値を記入。</p>

<p>< 検出下限値 ></p> <p>装置の検出下限</p> <p>試料における検出下限</p> <p>試料測定時の検出下限</p>	<p>数値（半角）入力。<u>有効数字1桁</u>で記入。</p> <p>GC/MSで検出できる最小量（pg）を記入。</p> <p>検出できる試料中の最小濃度（ng/g）を記入（分析結果と同じ単位とする）。</p> <p>検出できる試料中の最小濃度（ng/g）を記入（分析結果と同じ単位とする）。<u>分析結果が検出下限未満であった場合に記入する。</u></p>
<p>< 測定質量数 ></p>	<p>各塩素化物ごとに2つまでを選択（定量に用いた質量数を選択）。</p> <p><u>質量数の表記は、記載しているマニュアル等により異なっていることもあり、質量数0.01以下ではそのことを考慮して選択する（近い質量数を選択する）。</u>「その他」を選んだ場合には、数値（半角）で具体的に記入。</p>

4 - 10 分析結果報告書 [10]

廃棄物（ばいじん）試料に関する分析結果報告書[10]の入力方法の詳細を記します。ここでは、「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法」の規定以外の抽出方法の場合の結果を記入する。「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法」に規定する抽出方法の場合には、分析結果報告書 [9] に記入する。

表 4-10 廃棄物（ばいじん）試料（ダイオキシン類）
（分析結果報告書 [10]）

<p>測定回数</p>	<p>1～5の整数（半角）入力。<u>分析用試料のはかり取りからGC/MS等の測定までの一連の操作を行った回数（併行測定の数）を記入。</u></p>
<p>分析結果</p>	<p>数値（半角）入力。<u>単位：ng/g。</u></p> <p>（分析を実施しない項目があった場合には、「9999」と入力）</p> <p>「定量下限値以上」、「検出下限～定量下限」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。</p> <p>測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2～5回目の分析結果」欄は記入しない。</p>

<p>・分析結果（定量下限値以上） （検出下限～定量下限） （検出下限未満での検出下限の値）</p>	<p>定量下限値以上では、<u>有効数字2桁</u>（有効数字3桁目を四捨五入）で記入。 検出下限以上定量下限値未満では、<u>有効数字2桁</u>（有効数字3桁目を四捨五入）で記入。 検出下限値未満では、<u>検出下限値を有効数字1桁</u>で記入。</p>
<p>（注）分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（定量下限値以上、検出下限以上定量下限未満の値または検出下限未満での検出下限の値）は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。</p> <p>検出下限、定量下限とは、試料における検出下限、定量下限値を示す。</p>	
分析条件	<u>2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。ただし、試料の分取量については、測定回数分を記入する。</u>
<抽出> 試料のはかり取り量	数値（半角）入力。単位：g。測定回数分を記入する。PCDDs及びPCDFs用とDL-PCB用と異なる取り方を行った場合には、「メモ」欄にその概要を記入する。
2mol/L塩酸の使用量	数値（半角）入力。単位：mL。
ろ過に使用したろ紙の種類	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
洗浄水の量	数値（半角）入力。単位：mL。
洗浄溶媒の種類	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
量	数値（半角）入力。単位：mL。
(塩酸処理後の残さ)抽出方法 溶媒	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
(塩酸溶液・洗浄液)抽出方法 溶媒抽出	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。
高速溶媒抽出（ASE）	
メーカー	全角文字で具体的に記入。
型式	全角文字で具体的に記入。
抽出時間	数値（半角）入力。単位：時間。
溶媒量	数値（半角）入力。単位：mL。
圧力	数値（半角）入力。単位：p s i。
温度	数値（半角）入力。単位：。
static	数値（半角）入力。単位：分。
Flush	数値（半角）入力。単位：%。
回数	数値（半角）入力。単位：回。

自動ソックスレー		
メーカー		全角文字で具体的に記入。
型式		全角文字で具体的に記入。
抽出時間		数値（半角）入力。単位：時間。
溶媒量		数値（半角）入力。単位：mL。
迅速自動抽出(ソックスサム)		
メーカー		全角文字で具体的に記入。
型式		全角文字で具体的に記入。
抽出時間		数値（半角）入力。単位：時間。
溶媒量		数値（半角）入力。単位：mL。
その他		
メーカー		全角文字で具体的に記入。
型式		全角文字で具体的に記入。
抽出時間		数値（半角）入力。単位：時間。
溶媒量		数値（半角）入力。単位：mL。